



編集・発行 邑楽町役場企画課
〒370-0692 (住所記入不要)
☎0276-88-5511 (代表)
☎0276-47-5007 (企画課直通)
☎0276-89-0136
URL <http://www.town.ora.gunma.jp>
E-mail koho@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト
2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。
携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>



〈第五十六回〉

若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けしますー。

あすへひとこと

いつの時代までも残したい

邑楽町の昔ばなし



毎月17日は、こぶ観音の縁日。1月17日と8月17日は例大祭といわれ、露店が立ち並びます。今年も多くの人でにぎわいを見せていました

石打のこぶ観音【瘤観音編】

石打の住谷崎に、明言寺という千手観音を本尊にしているお寺があります。一般には明言寺と言わずに、「こぶ観音」と呼んでいます。

観音様にお願いとすると、御利益があった「子どもが生まれる」と信じられているところから子生観音と言い伝えられています。また、お頼みすれば「どんな瘤でも取ってくれる」というので瘤観音とも呼ばれています。子生も瘤も「こぶ」と読みますから、人々は「こぶ観音」と言って信仰しています。

観音様のご利益は、瘤取りでも知られています。江戸時代のいつごろのことでしたか、武州（埼玉県）のある殿様が、目の上にこぶができて困っていました。

たまたま石打村の行商人が、この話を聞きお城に寄って、「上州（群馬県）石打村にある観音様に願をおかけになれば、殿様のこぶは取れるかも知れません」と役人に話しました。

これを聞いた家来は、「それはいい話だ。早速殿様にお話ししよう」と大喜びで殿様にお話ししました。もちろん殿様も喜ばれ、家来を石打村の観音様に差し向けて、こぶが取れるように願をかけ、一生懸命お祈りしました。

こうして、満願の朝になりました。殿様が顔を洗おうとしますと、今まで邪魔になっていたこぶが、なくなっていました。殿様は大層喜ばれ、大勢の家来を従い、行列を作って石打村を訪れ、観音様にお礼のお参りをしたそうです。

石打の村のまつり

このときから「瘤観音」のご利益のある「こぶ観音」として、遠近の多くのの人々から信仰されてきました。

大正の末期から昭和の初期にかけてのことです。石打には神社がたくさんあるので合祀しようという声があり、相談が始まったそうです。ところが、その年の夏、石打に伝染病がまん延し、死人が出る騒ぎになりました。このようなわけで、合祀の話は立ち消えになりました。

従って、石打では元旦祭を始め、2月に社氏稲荷神社の初午祭り、4月に菅原神社・八王子神社・諏訪神社の春祭り、7月に八坂神社の祇園夏祭り、10月に菅原神社・八王子神社の秋祭り、と、たくさんのお祭りがあります。このほか石打には屋敷稲荷様のほか何々家の神様というのがあります。石打には大小数えますと神社が9社ぐらいいあります。合祀の話はそのままだけで、今でも昔のままの村祭りを行っています。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会
平成 10 年 12 月 31 日発行「高齢者の語り(第六集)あすへひとこと」より



日出ずる
(多々良沼)

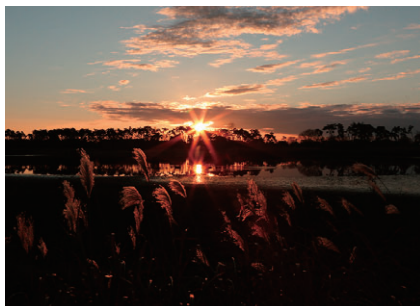


Photo 高根澤高明(記録ボランティア)

ひとりごと From editors

▶成人式典ではどの新成人も輝いて見えました。やっぱり、男は羽織袴ですね。自分も着ておけばよかったな……。なんて後悔しています。
▶私も成人を迎えてから早5年。新成人のような輝きはもうありませんが、輝く笑顔でこれからも頑張ります(笑)▶さて今年は暖冬といわれますが、寒くなる日もあったりと気温の変化に体が追いつきません。そんな寒さなどに関係なく、今年も白鳥たちは元気に邑楽町へ。白鳥が水面を泳ぐ姿はなんだか癒やされ、寒さを忘れて写真を撮っていました。▶ちなみにその隣の陸にはカモたちの姿があり、水が冷たいのか頭を体にうずめていました。そういえば私も寒い日の夜は布団に体をうずめて寝ています。私の前世はカモだったのかも……(本澤)



この広報誌は、自然保護のため植物油インキを使用しています。